

仕様書

ロボット・AI部

1. 件名

ロボット導入を推進するためのサービス展開等に係る調査・検討

2. 目的

新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）は、ロボット関連市場の拡大を目指して、2015年度から2019年度まで「ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト」を実施した。ここでは三品産業やサービス産業などのロボット未活用領域にフォーカスをあて、ロボット活用により課題解決を実現するための研究開発を実施し、これらの基礎を構築した（参考：「ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト」紹介ハンドブック（2019年度版）<https://www.nedo.go.jp/content/100903710.pdf>）。

2020年度以降は、これらの技術を活用しロボットの導入を推進していくため、技術的な観点だけではなく、ロボット導入に係るサービス等のあり方も見据えていくことが必要である。そこで本事業では、ロボットの導入に係るサービス提供に関して想定される課題や、当該サービスを国際的に展開していくことも念頭に、海外でのロボット導入に係るサービス提供に関する事例を調査し要諦の検討・整理を行い、未活用領域へのロボットの実装を推進することを目的とする。

3. 内容

NEDOと調整の上、上記2. に示したロボット導入に係るサービスに関する課題や、海外動向等について、(1)～(3)に関する検討・調査等を行う。

(1) ロボット導入に係るサービス等の検討・調査

- ・ロボットのメンテナンス／オペレーション／レンタル・リース機能等のサービスを提供している（今後提供することを見込んでいる）プレーヤーを探索し、当該プレーヤーへのヒアリングを通して、ロボット導入に係るサービス化にあたっての課題を整理する（例えば、ロボットをリース等で提供していくに際し、リース料率の算定に必要な情報やその共有方等）。その上で、当該課題を解消するための取組の仮説を検討する。

(2) ロボット導入に係る海外動向に関する調査

- ・ロボットの導入に係るサービスを海外にも展開していくためには、海外における今後のロボット関連市場の動向を見極めることが必要。具体的には、ロボットの導入に積極的な国（中国を中心とするアジア、アメリカ、EU）をターゲットにおき、以下の点について調査し、ロボットの導入に係るサービス展開の戦略を検討する。調査にあたっては、各種データベース、有識者へのヒアリング、各企業のプレスリリース等を活用し、今後ロボットの活用が期待される分野（利活用方法含む）を想定する。

- ① 現時点での海外におけるロボット導入状況（どのような産業分野にどのようなソリューションが提供されているか。導入されているロボットシステムの金額規模（産業分野全体及び個別単位）に関する情報含む）。
- ② 海外を含む将来におけるロボット関連市場の動向（どのような産業分野にどのようなソリューションを提供することが今後求められるか）。

(3) ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクトの成果普及に関する調査

- ・ ロボット導入を推進するユーザー企業等が実施する実証試験等において、「ロボット活用型市場化適用技術プロジェクト」の成果を活用し、プロジェクト成果の社会実装に向けた検証を実施する。当該検証を通じて、プロジェクトの成果を横展開可能なものに洗練させる。
- ・ その上で、様々なユーザーがプロジェクトの成果を活用できるよう、当該成果に関する対外的なアナウンスを積極的に行っていくことが必要であり、効果的なPR方法もあわせて検討し実施する。

4. 調査機関

NEDOが指定する日から2021年3月19日まで

5. 報告書

提出期限：2021年3月19日

提出部数：電子媒体CD-R（PDFファイル形式） 1枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと
<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。